

5期生（3学年） 総合的な探究の時間

1. 年間の概要

今年度は、「自分が希望する進路へと繋がる探究」を目標にさまざまな活動を行った。前期には自分の生き方・在り方について考え、表現することをテーマに活動した。また、後期に「課題解決」をテーマに「自治体の様々なデータから魅力・課題を発見し、その解決策を構想・提案する活動を行った。

2. 年間指導計画

月	テーマ	観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
4	自分の生き方・在り方を考える		○	○
5				
6				
7				
8	・課題解決のプロセスについて ・自治体の調査研究、課題設定	○	○	
9				
10				
11	・スライド作成、提案		○	○
12				

3. 取組の具体的な内容

(1) 自分の生き方・在り方を考える

自らの進路選択に向けて、これまでの研究課題と重ね合わせて自分の進路への興味関心を深めた。それを踏まえて、自己表現力の育成や志望理由の確認など、自らの進路実現に繋がる活動を行った。

(2) 課題解決のプロセスについて学ぶ

今日の社会人として求められる力の一つである「課題解決力」について、その意義と方法を学んだ。そして、「目標達成に向けた現状の把握・分析」から「課題発見」や「解決方法の構想」、「検証・まとめ」までのプロセスを理解し実践する活動を行った。

(3) 自治体の調査研究・課題設定

内閣府地方創生推進室ビッグデータチーム、経済産業省地域経済産業調査室から配信されている「RESAS – 地域経済分析システム」を利用し、設定した自治体について魅力・課題を調査し、その対策となる企画をグループで「課題解決のプロセス」を意識しながら作成した。

(4) スライド作成・提案

(3)で行った調査研究・企画作成について、これまでの探究で身につけた力を活かしてスライドを作成し、提案を行った。

○主な研究発表

- Doctors and nurses for the Future ～医師・看護師を増やす～（横浜市）
- 柴区を若者人気な今どきの町へ
- 磯子区の医療問題
- 逗子市に若者を！

4. 今年度の活動を振り返って

最終学年となる今年度の探究活動は、「自分が希望する進路へと繋がる探究」を目標にスタートした。前期はこれまでの探究活動で学んだことを踏まえて、自身の「将来なりたい姿」や「歩みたい進路」を再確認し、それに向けて自己表現力の向上を図ったり、志望理由のまとめを行ったりした。特に「文章を用いた自己表現」については、1・2年生での探究活動を通して着実に身につけてきており、それを活かして前期の活動を行うことができた。

後期には、「課題解決」の意義とプロセス・方法について学んだ上で、「自治体の課題解決」をテーマにグループで探究活動を行った。それぞれのグループが設定した自治体とその課題に対して、調査分析・解決策の考案・プレゼン資料の作成を行った。その際にデータとともに課題を見つけ、その解決のために必要な手立てを仮説として考え、実現に向けてどのような協力が必要になるかという観点を持ちながら取り組むことで、これから社会の一員として活躍していく基礎となる力を身につけた。

3年間の「総合的な探究の時間」を通じて生徒たちは、自分の身の周りにあることでも世界規模の課題に繋がっていることや、そういった課題を解決しようとする姿勢、さらにはそれに向けて協働していく大切さを学び身につけてきた。今後の社会で出ていく中でこの経験を生かし、活躍する人材になってほしい。